野球は人生そのものだ

片岡宏雄氏 (20回生)

スポニチ紙で「我が道」を語る

編集部

6年をご披露されました。スポニチ紙で「我が道」と題し、ご自身の野球人生6年年の10月1日から一か月にわたって、片岡氏が

その記事の要約をご紹介させて頂きます。に詳しく、興味深い話が載せられていました。ここにましたが、今回は30回にも及んだ連載ですから、更スカウトの極意等、面白い話をたくさん聴かせて頂きで、氏の立教時代の優勝メンバーの話、長嶋親子の話、2002年10月、第6回千里山会総会の特別講演

略歴

れ 疎開を兼ねて千里山に引っ越し。 1936年(昭和11年)6月、大阪市住吉に生ま

3度、出場。 浪華商(現大阪体育大学浪商)で捕手として甲子園に

東京六大学リーグ4連覇を達成。 立教大学では長嶋茂雄らの1年後輩で3,4年時に

からスカウトに専念。は新聞記者、ヤクルトバッテリーコーチを経て76年は新聞記者、ヤクルトバッテリーコーチを経て76年中日、国鉄(現ヤクルト)でプレー。64年引退後

任して03年12月に退社。スカウトとうたわれた。スカウト部長、編成部長を歴ら他球団から注目されなかった選手を次々に発掘。名若松勉、尾花高夫、池山隆寛、古田敦也、宮本慎也

- 54 -

スポニチの記事の要約

1 「100%」のないスカウトの世界

なって欲しい」と願って見てきた。てくれるだろう」と思って指名し「こんな選手に獲った選手は一人もいない。「この選手なら活躍し「この選手は100%プロで活躍する」と言って

のが試合を見た数だった。私が他のスカウトに勝るものとして自負してきたが、一名「い」で帰っています。

2 心に焼き付いた「浪華商」

捕手を務めることになった。私の速い球を捕れる仲間がい 私の速い球を捕れる仲間がいなく、以来、ずっと盛んだった千里山で野球も例外ではなかったが、と野球をやった。南部敦子さんがおられ、運動の グラブが4, 超満員の外野スタンドで、 が甲子園球場ではなく、 を見て、 千里山の自宅には戦死した一番上の兄が残した 終戦の翌年、 あの夏から私の野球一筋の人生が始まった。 「野球をやるなら浪華商しかない 5個あり、それを持って近所の仲間 千二小5年生の夏に全国高校野球 西宮球場で再開された。 心震わせ準決勝 こと思 決勝

3 [すりこぎ球叩き]に夢中

少しは勉強しなさい」と言われた。ぎ)なんか持って、球叩きばかりやってないで、りか親戚中から猛反対。母からは「摺り粉木(こりが親戚中から猛反対。母からは「摺り粉木(こりが親戚中がらないができばかりがあり

や三笠洋一氏(東大野球部・投手、後に新日鉄釜元阪神球団社長の岡崎義人氏(京大野球部・投手)学生野球は人気が高く、千里山にも自宅近くに

里山近辺で浪華商生は私だけ。 はみな秀才ときていたから、バツが悪かった。千石ラグビー部部長)がおられ、ご近所の野球少年

4 甲子園で感じた野球の本質

親戚は1度も甲子園に応援に来たことはなかった。で感じさせて貰った。3度の甲子園出場も家族・かったが、野球の奥深さや野球の本質を初めて肌優勝候補と言われながら一度も日本一にはなれな甲子園には春2回、夏1回と併せて3度の出場。

小さな投手に足すくわれた

5

3年生の選抜。私が主将を務める浪華商は開会3年生の選抜。私が主将を務める浪華商は開会ではおらかさである。

6 長嶋さんと運命の出会い

主将として迎えた3年最後の夏は、大阪大会で八

- 55 -

なら東京六大学と決めていた。選んだのは立大であ れは凄い」それが素直な第一印象だった。 り、セレクションで初めて長嶋茂雄さんを見た。「こ 生野球がプロ野球よりも人気があった時代で、行く尾校に負け甲子園には行けなかった。当時はまだ学

7

- **杉浦さんの言葉で正捕手復帰** 1年先輩には「立大三羽カラス」の長嶋茂雄・ 打田昌幸さん、慶大には藤田元司投手、明大には 古田昌幸さん、慶大には藤田元司投手、明大には 古田昌幸さん、アニョカラス」の長嶋茂雄・ で捕手を変えてくれ」の一言でスタメン復帰。

8 鍛えられていたスカウトの基礎

の目で投手を見られるようになったことがスカウ杉浦さんの球、それはもう凄かった。私は捕手 の基礎となったと思う。

良くも悪くも [集中力] の長嶋さん

を忘れて試合後、一人で帰ったほど。
幼少時代の長男・一茂を球場へ連れて来ているの
ケ、四六時中熱く燃えていたのが長嶋さん。その
し」という愛称で私は学生時代呼ばれていた。一

10 4連覇で大学卒業、 中日入団も

偉業を成し遂げ卒業。 つまり私が4年生の春・秋も優勝。4連覇というが4年生の春・秋(57年)はともに優勝。翌年、長嶋・杉浦・本屋敷という「立大三羽カラス」 騒がれて中日に入団した。

11

になった。中日では2年目オフに引退して記者へ、という話悟る。新聞記者にもあこがれていたので、結局、 ームランを打ってしまう。「何だかんだ言っても鉄の「野武士軍団」は強烈過ぎた。二日酔いでホプロ入り直後の私の前に、オープン線で見た西開幕前に自信喪失「今すぐ記者に」 プロは体力」とても自分の体力では通用しないと

12

決まっていた。そんなことから、結局国鉄に移籍。相談に行くと、砂押氏自体が国鉄の監督に昇格が思い、立大1年の時にお世話になった砂押監督に中日新聞社にお世話になるのも申し訳ないとも進路相談のつもりが国鉄移籍

13 金田さんがピッチング相手に指名

に指名。プロでの失敗はスカウトとして大きく役だけは国宝級やなあ」といつもピッチングの相手金田正一さんからは「片岡、お前はキャッチング国鉄では4年間で出場13試合に終わった。でも中日での2年間で1軍出場はわずか16試合。 指名。 った。

14

スカウト2年目のコーチ要請ためらい

二ホ ムを脱ぎ、 新聞記者となったからこそ

16 イセイコーだよ」

園で記者に感想を求められた私の答えが、冒頭の間のスカウト時代に現れたのが江川である。甲子またバッテリーコーチを務める。この狭間の2年就任を要請され、1年間のみ務めた。その後、ス就任を要請され、1年間のみ務めた。その後、ス就任を要請され、1年間のみ務めた。その後、ス就任を要請され、1年間のみ務めた。その後、ス就任を要請され、1年間のみ務めた。その後、ス就任を要請され、1年間のみ務めた。 スカウト 言葉である。

17 コーチ経験生きた尾花獲得

である。守備コーチからヘッドコーチ、そして監選手の相性。この点はスカウトの重要な要素なのバッテリーコーチ経験から学んだのは、監督と

18 「エース尾花」にらんだ通り

のその後の活躍はご存知の通り。
新日鉄堺に紹介したのが野茂英雄投手である。彼勝利。尾花投手を円満に送りだしてくれたお礼に勝利。尾花投手はマクルト入り。広岡監督の目に留り、尾花投手はやクルト入り。広岡監督の目に留り、

19

素だ。 人脈とネットワーク。スカウトに**、偶然の再会で知った「小さな大打者」** 1 9 このことによって日本人最高の生涯打率・Mとネットワーク。スカウトに欠かせない要 18を残した1268なの「小さな大打者」

若松勉選手をスカウトした。

大型野手を狙って結果に結びつかないという傾向ヤクルトの70年代のドラフト戦略は大型投手**意向反映第1号の亜大・宮本**

20

った81年に亜大・宮本賢治投手を獲得。私が思った81年に亜大・宮本賢治投手を獲得。私が思にあった。そんな中、私が意見を言えるようにな

21 「引退後も力に」確信の小川指名

とも考えた。 うな折に獲得したのが河合楽器の小川淳司外野手 後。再就職先を探すのは容易ではない。そのよ,25歳。プロ入りし数年で引退すれば30歳も考えた。大卒の社会人選手は年齢にすれば2大卒の社会人選手を獲る時は、彼の引退後のこ 引退してもチー ムの力に成れる選手であ った。

- 58 -

22 4

に。スカウト活動もやりやすくなった。が大挙して押し寄せ、ヤクルトも一気に人気球団が大挙して押し寄せ、ヤクルトも一気に人気球団獲得。その人気は「ハンカチ王子」以上。ファン野球。82年のドラフトで荒木大輔投手を抽選で野球。82年のドラフトで荒木大輔投手を抽選で **のイメージ変えた荒木**

23

ヤクルトの総務部長から球団代表、名コンビでヤクルト黄金時代幕開 球団社長を

ヤクルトの黄金時代を築く。任された田口周さんとの名コンビ(85年以降)

24 命の日 川崎投手の思い出

えることが大事である。引き当てた。勝負事は「負けるはずがない」と思勝てる」と確信し、私自身が左手で抽選、見事に勝てる」と確信し、私自身が左手で抽選、見事にルトと巨人の一騎打ちとなった。私には「絶対にルトと巨人の一騎打ちとなった。

25

一茂との入団交渉わずか1分 一茂との入団交渉わずか1分 一茂との入団交渉わずか1分 「ただ、では思うような成績を残せずヤ うで終了。ただ、彼は思うような成績を残せずヤ うがという重要な仕事が残っている。しかし、長嶋 渉という重要な仕事が残っている。しかし、長嶋 がという重要な仕事が残っている。

26 現場の声押し返し古田との契約

したが、もし破れたよ87年のドラフト時、 もし破れたら立命大の古田敦也捕手をドラフト時、1位指名で長嶋一茂を獲

> んだ。2年後、現場りいたので結局、他球であった。 だ。2年後、現場の声を押し返し、古田を獲得。たので結局、他球団も敬遠。トヨタ自動車へ進る予定であった。結果的には彼が眼鏡をかけて

27 衝撃受けた最高の素材 伊藤智仁

的には度重なる故障で短命に終わったが。必要がない」という完璧なフォームだった。結果いない」と思って獲った投手である。「何もいじる東京都・伊藤智仁投手は「こんな凄い素材は他に東2年のドラフト1位で指名した三菱自動車・

「まさか」の喜び宮本2000安打

28

るのがスカラトゥヒ事で、、それを見極めた。使ってもらえる選手かどうか、それを見極めは一級品であったが、打撃は疑問であった。でもは一級品であったが、打撃は疑問であった。でも人が揃って2千安打を達成した。宮本選手の守備人が揃って2千安打を達成した。宮本選手の守備 るのが スカウト の仕事 である。

29 し玉で狙い続けた高津

中の がいる。 手の抽選に外 目を付けてい 手の陰に隠れてい を知っていたから獲れたのだ。 積みがプロで生きることがある。 は . 9 隠し玉」 以前より 実績の 学生時代に芽が出なくても下 パれたが、 ない た。 ラフト であった。 同じ亜大で、 おり、 投手を獲るのは勇気 私にとっ た高津臣吾投手にも 高津投手は獲得 8 超目 だから小池投 球団 この 玉 て「隠し玉 『が競合。 小池投

30 野球は人生そのものだ

団テストに立ち会わされた。 83年のシー なれました」。 一をかけて日本シリー たし。 ムの栗山英樹監督の言葉である。 「冒険する片岡さんだからプロに入 「片岡さんのお陰で、 教員免許もある。 ズン後に一人の選手の入 これは昨年、 ズを戦った日本 巨人と日本 ここまで 東京学芸大 でも何より

> 彼の意欲を買い、 「選手は獲ってみなければ分らない」ということ。 った父。でも好きなことで一生メシが食えた。 「野球でメシを食うなんてもってのほかだ」と言 ドラフト外で獲っ

せて 回生で片岡様と同級生の荒木弘進様です。 て下さったのは、 氏から新に次の情報をいただきました。 この ただきます。 = チ紙に連載され 千里山在住の千里 た三十 山会・ 日 分の 会員 併せ報告さ 記事を送っ 二十

- 60 -

岡氏が過去に出された本

* スカウト物語

神宮の空には VI つも僕の夢があ 2 0 2 0 10 た

18

プ 口 野球スカウト 0 眼はすべ T $\begin{array}{c} 2 \\ 0 \\ 1 \\ 1 \end{array}$ 「節穴」 . である 2 1

*

七日目のスポニチに載った記事から

杉浦投手は日本選手権で、巨人を相手に4連続勝利投

手になり、

「月夜の千本ノック」

周 ま 後 山登投手 (元大洋監督) 手(元巨人監督)、 入りした名二塁手・古田昌幸さ リー。そんな強者の中で4年間淳捕手(元大洋監督)のバッテ 組で活躍して一昨年に野球殿堂 日本ハム監督)や社会人・熊谷 て親しまれた大沢啓二さん(元 慶大に藤田元司投 明大にも秋 てしまったのだ。 が起こった。 級生を中心に排斥運動にまで発展し 有名な砂押監督への不満が噴出。上 に代表されるようにスパルタ指導で

はそうお目にかかれない。 代だ。六大学に好選手が集まるの 大学野球の方が人気が高かった時 っていた。プロ野球よりも東京六 そうたる顔ぶれの先輩たちがそろ 私が入ったときの立大は、そうが始まった。 年先輩には長嶋茂雄さんをは

じめ、 急コーチ)の「立大三羽カラス」 で活躍する本屋敷錦吾さん(元阪 で活躍する杉浦忠さん(元ダイエ 後に南海(現ソフトバンク) 阪急(現オリックス)

2回戦で出番がきた。 「今日、おい きったのか、1年春のリーグ戦か 投手から神宮初安打を放った。順大敗ながら、スタメン出場で藤田 前 幸いにも砂押邦信監督の目に留 出んだぞ」。試合は4

野球生活だったが、5位に終わっ調に滑り出したように見えた大学 たシーズン後に部内で大きな問題 14 2

てこない。夏合宿は、 上級生は練習をボイコットして出 BIK KI 私たち1年生 す。 ことになっていたらし その首謀者が私という れてしまったようで、 生への反抗ととらえら 練習していたのが上級 「そんなことないで

代にバッテリーを組んだ筆者される杉浦忠投手(右)と立大時日本最高のアンダースローと評

てただけです」 でやろうと入ってきたので練習し 「そうか。 分かった」

南海を日本一にした。 んが私のところへ来てこう言っ い、1年生は合宿を途中で切り上巻き込んだ大問題となってしま だけで静岡・伊東で行うはめにな げて合宿所へ。このとき、 った。排斥運動は大学の総長まで うな」。1年生だけで してるんじゃないだろ お前が1年生を扇動 大沢さ 時に、砂押監督 野球をやらせて 自主性を重んじ グ戦から指揮を いう形で決着。 局、この問題は あの頃から親 すぐに分

僕は砂押監督の下 捕手を代えてく チングには自信 2回戦からスタ 浦さんの一言だ ン捕手。そんな 控え投手のボー 終わったな」と ながら不動のエ 回戦はスタメン 際、秋のリ へ戻れるきっか いた私は「これ 「思い切って

の言葉で正 浦さんのおかげ